

第9回 水端かわまちづくりWGの開催結果

日 時	平成29年3月10日(金) 13:30~15:00		
場 所	亀岡市役所 別館 3階会議室		
出席者	<p>京都学園大学バ 付環境学部 教授 大西 信弘 グループ長 保津町自治会 自治会長 塚田 勇 副グループ長 亀岡市桂川改修促進期成同盟 委員長 古谷 弘志 亀岡防犯推進委員連絡協議会 会 長 十倉 康吉 長尾 一 亀岡経済同友会 専務理事 石倉 敬子 農事組合法人ほづ 代表理事 酒井 省五 公益財団法人 亀岡市体育協会 会 長 關本 卓男</p> <p>京都府南丹土木事務所 企画調整室 寺田室長 山田主事 " 河川砂防室 谷口副室長</p> <p>亀岡市 都市計画課 田中係長 " 都市整備課 西出係長 " 桂川・道路整備課 並河課長 澤田副課長 湯浅主査</p>		
内 容 (次第)	<p>1) 開 会 2) 議 事 ○水端かわまちづくりエリアの平成29年度の整備計画について 3) 閉 会</p>		
			

【平成 29 年度の整備計画について事務局説明】

- ・昨年に完成した多目的広場・駐車駐輪スペース(一部)については、便益施設がまだ整っていないが、広く周知はできていないが、少年サッカー・グラウンドゴルフ等での利活用がされている。
- ・トイレ整備については、今年度については管路のみを整備する予定であったが、補正予算が確保できたことから、建屋についても3月中に発注し今年夏頃の完成を予定している。
- ・水端かわまちづくりエリアのメイン事業の一つであるじゃこ田の整備については、整備予定地が洪水の際、最も早く浸水すること及び下流で整備したワンドが洪水により埋まってしまったことから、計画よりも規模を小さくして実験的に整備したい。高水敷内の暫定水路に接続する池のようなものをつくることとし、詳細については、大西グループ長、塚田副グループ長と相談しながら進めたい。
- ・その他平成 29 年度の整備については、駐車駐輪スペースの完成・高水敷の外周道路整備・階段スタンドの整備を予定している。これらの整備については予算に左右されることがあり、その際には優先順位を考えながら整備することになりますのでご了承願いたい。

【平成 29 年度の整備計画についての意見交換】

- じゃこ田の整備はいつ頃を予定しているのか。なるべく早い方が良いが。
⇒なるべく早く整備をしたいと考えているが、水生生物の活動時期、洪水の時期等を考えながらとなる。
- じゃこ田予定地と通常時の桂川の水面差はどれくらいあるのか。
⇒2 mぐらいだと思う。
- 外周道路と多目的広場に段差は出来るのか。多目的広場に車が進入しないように段差を付けてほしい。
⇒現状の計画では段差は付けていない。車が入らないように方策は検討する。
- 昨年台風時の浸水状況について説明いただき今回は大事に至らなかったとのことだが、多目的広場の本格稼働がされた後に災害で暫く使えないような事態が起これば、早く復旧するように市に対して強く要望がされることになると思われる。保津橋水位3.5 mで旧堤防を越え浸水が始まるとのことだが、もう少し高い水位まで耐えられるようにできないか。
⇒旧堤防の形状を変更することは難しい。当初の計画から浸水については想定されていたことであるので、被害を受けにくい整備内容を検討していきたい。
- 堤防園路からトイレに下りる道については、擬木階段をつけるとのことだが2箇所のうち一つをスロープにできないか。園路を車いすを押して散歩されている方をよく見かける。
⇒園路とトイレ建築場所の高低差がかなりあるため、今の擬木階段予定の位置にそのままスロープを付けることはできない。車いすの方も利用がしやすいように動線を検討する。

【BBQエリアについての意見交換】

- 水端かわまちづくりエリアについては3年前までは、1 mの高さの草がただ一面に生い茂っているだけの場所であった。その場所が、WG会議で検討いただいた計画を基に昨年には多目的広場が完成しその下流ではパークゴルフ場として保津町で利用をしている。多目的広場についてはあれだけの広い場所でありながら、定期利用がされ草1本も生えないよう利用者による管理がされている。パークゴルフ場については、暫く整備が予定されていない場所を保津町で使わせていただき、高水敷の利活用の可能性を考える為に実施しています。手作りでのコース整備となるが18ホール出来上がり、先々には公認コースを目指したいと考えている。
皆様に、お願いしたいこととしてパークゴルフ場については当初の絵には入っておらずBBQ場エリアを想定していた場所となるが、ここをパークゴルフ広場として確保させてほしいと考えている。

BBQについてはやはり車を横付け出来る場所が望まれており、現在の利用を見ていると保津橋の下に集まっておられるのが多く見受けられる。また、先日行われた保津川の日を見ていると暫定で整備された水路で子供が遊ぶ姿などが見受けられ、じゃこ田・湿地ができる最高の遊び場になるのではと考えていた。これら、場所などにBBQエリアを作ってはどうかと思っており、グループの皆さんで検討いただきたいと思います。

⇒只今、提案のあった件については、事務局としても本日会議で議論をお願いしようと考えていた件である。当初のBBQエリアについては、現状サッカーでの利用がメインとなっている多目的広場下流側に位置しており、砂ボコリが立つ横でBBQはどうなんだという意見や、高水敷の真ん中はアクセスが悪いのではないかとの意見を多方からいただいていたところです。他の候補地としては、先ほど意見があったように、現在も利用者が多い保津大橋の周辺や市道と隣接している保津小橋周辺が考えられる。

○BBQ広場とする為には、影のある場所が必要である。元々の計画図には、高水敷にシンボルツリー(クスノキ)の植樹を予定されているのだが、これは実施するのか。実施するなら桂の木に変更できないか。

⇒当初の計画図には入っているが、高水敷への高木の植栽は河川管理上流水を阻害する可能性があるため実施については慎重に進めなければならない。

○BBQ広場とした場合、現状を見ると網・包丁等々何でも捨てていくようなマナーの悪い利用者が多くいるので、多目的広場のような利用者での管理はとて望めない。管理人を付けて管理していくしかないが、お金のかかる話である。

⇒BBQ広場の適正な管理方法については上手く管理をされている先進地を見て、勉強をしたいと思っている。BBQ広場の位置については、いただいた意見を参考にしながら事務局で場所を考えたいと思います。

【芝生広場の整備についての事務局説明】

・多目的広場については真砂土で舗装をし、その後自然に生えてくる草を利用しての草原地を作る予定をしていたのですが、広く広報をしていない現段階においても定期的な利用がグラウンドゴルフや少年サッカーでされており、利用者での草刈り等が管理が丁寧に行われ、広場が完成して1年が経とうとしてますが綺麗な状態が保たれています。ある種、これはこれで理想的な状況ではあるものの、保津橋から見える緑の広場をどこかに設けたい思いを事務局としては持っています。

当初、緑化をするならJFA(日本サッカー協会)で実施されているティフトンの無償提供事業を活用することを検討していたが管理(施肥、水やり、刈込)にかなりの手間を要することから、実施は困難と考えておりましたが、その後、芝の植栽に精通しておられる桂高校の先生と相談をしたところ、京都芝というものがあればそれなら植栽後それほど手間がかからず、また、京都地域固有の在来種の芝グラウンドということで話題性もあるのではないかと提案頂いたところです。

については、水端かわまちエリアのどこか芝生グラウンドにするのに良い場所はないか、ご意見を頂きたい。

【芝生広場の整備についての意見交換】

○多目的グラウンドを前面を芝生化するという話も聞いているが本当であるか。

⇒多目的グラウンドについては、かなり良い状況で利用が出来ているのでそのまま残してほしいとの意見をいただいている。芝の養生期間は利用が出来なくなるので、せっかく定着しはじめていくにぎわいを壊すことにならないような整備を考えており、全面を芝生化することは決定していない。

また、現在養生されている 200 m²の京都芝をポッド化して植栽し広げていこうと考えており、それにより芝生化できる面積は多目的広場の 3 分の 1 程度である。今年に 3 分の 1 植えてみて様子を見たいと思っている。

○何時ごろに植えるのか。また、植えた芝はどれくらいの期間で広がるのか。

⇒本来は今年の 5 月くらいを目途に植栽をと考えていたが、どうやら現在宮城県で養生されている京都芝が雪の下に眠っているため今年度植栽できるかについては、今後調整となる。植栽から 6 ヶ月ぐらいで 25 cm 程度広がるとは聞いているが、それも試していくことになる。

○なぜ宮城県で養生されている芝を使う必要があるのか。

⇒震災の復旧事業の一環で、防波堤にどの芝が合っているか桂高校で実験をされている為、宮城県で養生がされている。植樹後の経過観察を研究も兼ねて桂高校の学生にも手伝っていただけたらと考えている。また、雑草を生えないようにする芝の肥料の研究もしていると聞いている。そうした、指導も仰ぎながら植栽後のメンテナンスを実施していきたい。

○一度、保津橋から保津小橋までの法面に芝を張ったことがあったが、全てセイタカアワダチソウに負けてしまい、芝は残っていない。芝を植えるのであれば、植えた後の芝の管理について、誰が・どこで・何をするのかについて、きちんと決めておかななくてはならない。芝は育たず、グラウンドは草だらけということになれば元も子もない。

⇒わかりました。

○広がり方を確認してからでないかと、どれくらいの間隔で植えるべきか分からないのではないかと。また、管理をしていけるかどうかも見えていかないとわからない。一度、もっと小さな場所を実験してからやってみてはどうか。そうでないと、どこを芝生化したらよいか検討しようがない。

⇒提案頂いたように、今年に小さい範囲で実験的に植えてみて、広がり具合や手間のかかり具合をみていくこととしたいと思う。そうすることで、現在の利用されている方にも説明がしやすくなると思う。

○当初計画では、維持にお金がかからないように雑草を刈りこみ草原として管理していく方針であった。今年度は実験だけするのであれば、まだ、芝生広場の本格化には時間的猶予があるので、芝を植えた場合でも維持費が極力かからないような体制を事務局で考えてほしい。

⇒わかりました。

【結果】

- ・平成 29 年度の整備箇所としては、基本的には事務局提案のとおり進めることとする。園路からトイレへの車いす利用者の動線、グラウンド内へ車が進入しないようにすることについては事務局で検討することとなった。
- ・じゃこ田については、生物の活動時期に併せた整備をすることとし、詳細はグループ長・副グループ長と相談しながら進めることとした。
- ・BBQ 広場については、当初予定していた場所はパークゴルフ場とする。代替りの場所については利用者の利便性、管理方法、ゴミの問題を踏まえて検討することとなった。
- ・芝生広場の整備については、まずは小さいスペースで実験をしてみて広がり具合・管理具合を研究し植樹後の管理体制を確認しながら、次年度以降の広場整備に備えることとした。

